

## 全日本中学校長会総会会長挨拶

会長 三町 章

みなさん、おはようございます。ただいまご紹介賜りました、全日本中学校長会第36代会長の三町章でございます。

本日はここに、平成25年第64回全日本中学校長会総会を開催しましたところ、文部科学省 布村 幸彦（ぬのむら ゆきひこ）様、全国都道府県教育長協議会会長 東京都教育委員会教育長 比留間 英人（ひるま ひでと）様をはじめ、教育関係団体の代表の皆様、全日中歴代会長及び理事の皆様、関係機関の皆様など多数のご臨席を賜りました。まずもって、お礼を申し上げます。誠に有難うございます。

さて、新しい学習指導要領が全面実施となり2年目を迎えましたが、各学校では移行期間も含めた着実な準備と取組により、教育課程が適正にそして円滑に実施されているものと拝察いたします。

私は昨年5月23日に、ここ国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて開催された全日本中学校長会総会の挨拶のなかで、東日本大震災からの復興への継続的支援、学習指導要領に基づく教育課程の適正な実施と課題の整理・発信、全日中教育ビジョンの検証と更なる教育改革の推進などに重点を置いて取り組みたいとお話しました。また、全日本中学校長会は、平成24年度も教育の実践的専門家集団として「有言実行」という行動理念を引き継ぎ、「教育改革を推進する全日中」として、教育の立場から国家社会の発展に貢献することなどを呼びかけさせていただきました。

そして、これらのことを基本にして、全日本中学校長会研究協議会大阪大会、各地区中学校長会研究大会、教育関係諸団体、中央教育審議会関係部会、マスコミ等において意見表明やお願いをしております。

さらに、いじめや体罰に関する問題への対応として、全日中第2回理事会において「いじめの問題への取組の更なる徹底を」を、また、第4回理事会では「適切な指導が求められる部活動」の全日中見解を決議し、それぞれの課題解決に向けた積極的な取組について、全国の校長先生方に呼びかけさせていただきました。

東日本大震災からの復興への継続的支援につきましては、とりわけ被災地の校長先生を支えたい。行政からでは手が届きにくいことへの支援をしたい。募金等の活用はもちろんですが、多くある支援団体への情報提供や働きかけも行っていきたい。そんな思いをもって取り組ませていただきました。改めて全国の校長先生方、復興支援にご尽力いただきました関係諸団体の皆様方に感謝申し上げます。そして被災地の学校における一日も早い教育の正常化を強く願っています。

「全日中教育ビジョン」（改訂版）はこの3月5日に完成し、全国の校長先生方にお配りすることができました。校長自身の教育改革、学校改革の指針とも言えるもの

です。当初は3年間の実践成果を振り返るため、第3章「10の提言」のみの改訂作業を進めておりました。しかし3年間の国の動向や社会状況等の変化は予想以上で、結果として第4章以外の全ての章を見直す改訂となりました。この改訂作業を通して得られた教育改革の阻害要因なども把握でき、教育課程の実施状況に関する調査研究の結果とともに、課題を整理し情報発信することができました。

「全日中教育ビジョン」（改訂版）をもとに更なる学校からの教育改革の推進を期待します。

今後5年間の国の教育施策の方向性を示す第2期教育振興基本計画について、中教審答申ができました。2年間にわたり全日中としても意見表明し、その多くを取り上げていただきました。また、新政権が打ち出した教育再生の方途についても、その方向が盛り込まれております。教育の実践的専門家集団である全日中として、この基本計画について、今後、国や地区教育委員会などが進めるべき具体的な教育施策、学校として取り組むべきことなど、整理して理解を深めることが必要です。そのうえで、これからの社会を生き抜く子供たちのために、我々校長が取り組むべきことには真剣に取り組む。国や各地区教育委員会等に求めるべきことがあれば積極的に働きかける。全日本中学校長会はこれからもこうありたいと考えております。

最後になりましたが、平成24年度の活動にご理解ご協力をいただきました全日本中学校長会役員、理事をはじめ全国の各都道府県校長会の皆様、全日本中学校長会に対して全面的にご支援をいただいた文部科学省初等中等教育局をはじめ関係局の皆様、各都道府県教育委員会の皆様、関係団体の皆様、そして全日中OBの皆様に改めて感謝を申し上げ、開会の挨拶とさせていただきます。